



中 小松川中学校だより

令和8年4月15日
江戸川区立小松川中学校
第1号

進級・入学おめでとうございます

統括校長 折橋 信二

桜の花が咲き誇る今年の4月、令和8年度が無事にスタートいたしました。本年度は、新1年生214名、新2年生247名、新3年生276名、全校生徒737名(夜間学級を含む)でのスタートとなります。新たな仲間を迎え、校内にはこれまで以上に活気があふれております。

本校は開校4年目を迎えました。これまでの歩みの中で、前身校である小松川第一中学校、小松川第三中学校、そして小松川第二中学校夜間学級の良き伝統を大切に受け継ぎながら、小松川中学校としての新たな歴史を築いてまいりました。今年度もその精神を大切にしつつ、本校ならではの教育活動をさらに充実させていきたいと考えております。

私は、生徒一人ひとりが「自分自身」と「自分に関わるすべての人」を大切にし、感謝の気持ちを忘れず、思いやりのある人へと成長してほしいと願っています。そして、小松川中学校の生徒であることに誇りと自信をもち、日々の生活を送ってほしいと考えています。そのためには、生徒として、また一人の人間として、正しい行動がとれることが大切です。さらに、周囲の人が誤った行動をしているときには、相手の気持ちに配慮した言葉で注意し、よりよい方向へ導くことができる力も育んでいきたいと考えています。

昨年度まで重点的に取り組んできた「学力向上」については、一定の成果が見られました。今年度もその取り組みを継続しながら、さらに一歩進め、不登校や登校に不安を抱える生徒、教室に入りにくさを感じている生徒への支援にも力を入れてまいります。すべての生徒が安心して学校生活を送れる環境づくりに、教職員一同で取り組んでまいります。

また、先月には小学校を卒業した児童が参加する地域行事「ナイトウォーク」のお手伝いを今年もさせていただきました。この行事は、地域の方々が中心となり、卒業という節目にあたる子どもたちが、約20数キロの道のりを夜通し歩き抜くことで達成感を得て、自信を育むことを目的として実施されているものです。当日は、多くの地域の皆様が付き添いや見守り、救護所の設置やパトロールなどを行い、安全面にも万全の体制が整えられていました。

子どもたちのためにこれほど多くの方々が力を尽くしてくださっている姿に、深い感動を覚えるとともに、この地域の温かさや結びつきの強さを改めて実感いたしました。生徒たちにも、このような恵まれた環境の中で生活していることに誇りと感謝の気持ちを持ち、将来は地域に貢献できる大人へと成長してほしいと願っております。

さらに、本年度は教職員の異動もあり、多くの別れと出会いがありました。これまで本校の教育活動を支えてくださった教職員の皆様には、新天地でのご活躍を心よりお祈り申し上げます。また、新たに着任された教職員には、生徒一人ひとりに寄り添いながら、学校のさらなる発展に力を尽くしていただくことを期待しております。

何よりも生徒のためになることを第一に考えて欲しいです。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年度も引き続き、温かいご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副校長先生の異動がありました。一言いただきました。

通常学級・特別支援学級副校長 山崎 龍一
区内の東葛西中学校から昇任して副校長として着任しました。生まれも育ちも江戸川区で、この地域が大好きです。縁あって区内のこの小松川中学校に来ることができ、嬉しく思っています。着任して感動したのは入学式での3年生有志による校歌の合唱、朝礼後の教室に戻る時の整然とした態度です。校歌のハーモニーとこれだけの人数がいるのに短時間で教室に戻る姿に驚きました。さらに良い小松川中学校にすべく尽力します。

夜間学級副校長 中村 裕一
足立区より着任いたしました。区が変わり、初めての夜間学級ということで、新たに覚える仕事がたくさんあります。通常学級と夜間学級では勤務時間が異なること、生徒の年齢や国籍が多様であることは一種のカルチャーショックでした。

小松川二中時代に社会科の講師としてお世話になった縁があります。地域の行事等を通じて早く馴染むように心がけていきます。皆様のご支援よろしく願いいたします。



校歌披露



夜間学級入学式



夜間学級始業式

